

市政は「市民の声をしっかりと聞く。そこからスタートするのだ！」

石渡 登志男 議員



市民の皆様方の心温かいご支援のもと再び議会に戻ってくる事ができるようになった。心から感謝申し上げたい。その選挙結果、得票数においては他の議員の皆様方は私に足下にも及ばないが、ただ今回、平成23年と平成27年の得票数を比較すると議員の中で票が一番伸びた。でもそれが嬉しいのではなく、前任期の4年間の私の議員活動を市民の皆様方が評価してくださったことが心から嬉しい。ところで市民の為に市役所はある。市役所の為に市民がいる訳ではない。その点を誤解すると大変な事になる。市政は市民一人ひとりの幸せのため、市政の一点だけにある私たちの仕事はそれだけなのだ。もしそれを忘れた時、市政に対する信頼の失墜を必ず招く。「前任期より石渡はもっと頑張ったな」とそう思っていただけのような取り組みをしていきたい。

みどりや丘の利便性を高める。具体的に言えば商店等も誘致すべきだ。答 みどりや丘は総合戦略の基本目標を実現するうえで、相応しい地域と考えています。ご提案の利便性向上の検討も進めてまいります。問 子供を犯罪から守る。これが私の質問の狙い。ではその危険箇所市は何箇所対応したのか。子ども一〇番の家、形だけになっていないか。何かあっても意思疎通がないと子どもは一〇番の家には行けない。シールラリーというのがある。子どもが帰宅途中にある一〇番の家に行き、実際家の方と接し、家の方からシールを受けとり、地図に貼っていくという作業。一〇番の家は子どもにとって身近な存在でなければならぬ。この提案については後の一般質問でお訊きたい。答 43箇所が要対策箇所38箇所対策を実施し、残り5箇所です。問 本市の国民健康保険は、3人に1人が加入者。この保険税は県内54市町村において第8番目に高い。とにかく高い。これが本当に「住みたい、住み続けたいまち」なのか。私たちは市民の声をダイレクトに皆様方に伝える責務がある。国民健康保険も含め、税金は必要最低限でよい。むしろ市は無駄を省き、下げる努力が必要だ。だから今回、国民健康保険の引き下げについて取り上げた。国民健康保険の減免制度を受けている市民の方いわく、それでも厳しい、保険税で生活が圧迫されていると。そういう声が皆様方には聴こえませんでしょ。それを知ったと市は把握すべきだ。同僚議員からも国民健康保険の質問があったので、私は低所得者に対する減免についてお訊きたい。答 国が定める所得基準を下回る世帯に対して、7、5、2割の割合で均等割及び平等割を軽減しています。

暮らしに安全・安心の街づくりを目指して

山田 繁子 議員



住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりについて。問一、コミュニティバス運行拡大について。国からの補助金ほどの位あるのか。コース等の見直しへの協議の場はどのような形で行われているのか。答 大網白里市コミュニティバスについては、平成27年4月から業者との協定により運行を継続している。協定により事業者は運賃収入と国庫補助金平成27年度補助内定額は458万1,000円となっており、運行に係る市の補助金は無い。コース等の見直しの要望については、包括的に協議を行う場があるわけではない。区長会などの団体を通じてや個別の要望等によって意見を伺っている。利用者、地域の意見を大事にし地域公共交通活性化協議会に投げかけ利便性の向上を目指し市民サービスにつなげて欲しい。問二、高齢化率が進む対策として交通不便地域の柳橋地区にコミュニティバスの運行に向けての対応策について、また高齢化率が高い地域への外出支援への対応策は、今後市としてどのように考えているのか。答 現行協定期間である平成30年3月末までは現行のルート及び時刻表

に基づき、安定的、継続的に運行する事が重要であると考えている。今後高齢者等の交通利便性も含め、市民の皆様からの要望を踏まえながら、ルート変更も考慮に入れて利便性向上の方策について検討を続ける。問三、路線バスの大網病院前バス停に待合所の設置について。現在県道山田台大網白里線道路整備により道路も以前より広がり利便性も高まります。平成28年3月完成を目途に進められておりますが、工事終了後に以前設置されておりました待合所の設置について、一般質問でも取り上げさせて頂いておりますが、バス業者との話し合いの中で検討するとの答弁であったと思いますが、県と市、関係業者等の話し合いはどのようになっているのか。多くの市民からの要望であります。答 県道山田台大網白里線を通る路線バス下りの大網病院前バス停に設置されていた上屋は、県道整備に際して関係機関と協議を行った結果撤去しなければならぬこととなり平成25年に撤去された。再度の設置については現在どこを予定されているのか。バス停上屋の設置については、今後、財政状況等も考慮して、必要性については検討していく。問四、雇用促進対策について。高齢者が生きがいを持って活躍できる場所を提供する為、今や国民の4人のうち1人が65歳以上という超高齢社会を迎え、団塊の世代が75歳となる2025年に向けて介護の職員が30万人不足に達するといわれています。定年後介護の資格を持って再就職を考えている人に市独自の補助制度を設けた取り組みはありますか。答 補助効果、補助対象等を含め、先進事例を踏まえて研究してまいります。その他、津波避難計画整備の進捗状況について質問しました。



市内を巡回するコミュニティバスのルート拡大を

Table with 2 columns: Party Name and Representative Name. Includes Self-Democratic Club, City Council Public Party, and others.

請願・陳情を提出される方へ. Includes a form for submitting petitions and contact information for the City Council.

Table with 3 columns: Date, Day, and Summary of agenda items for the 1st Ordinary Meeting of the City Council in Heisei 28.